

相馬市 復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月5日 設置の有無: 有

平成28年12月時点

Table with columns: No, 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費(注3), 各年度の交付対象事業費(注4) (2023-2032), 事業間渡り額, 全体事業費(注5), 備考(注7). Rows include various disaster recovery projects like road reconstruction and housing support.

相馬市 復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月5日 設置の有無: 有

平成28年12月時点

Table with columns: No, 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費(注3), 各年度の交付対象事業費(注4) (2013-2028), 事業間連携額, 全体事業費(注5), 全体事業期間(注6), 備考(注7). Rows include disaster relief projects like '防災集団移転促進事業' and '道路事業' across various regions like '相馬地区' and '新沼地区'.

相馬市

復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月5日 設置の有無: 有

平成28年12月時点

Table with columns: No, 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費(注3), 各年度の交付対象事業費(注4) (2013-2028), 事業間連携額, 全体事業費(注5), 備考(注7). Rows include various disaster recovery projects like road reconstruction, school facility improvements, and disaster prevention measures.

相馬市 復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月5日 設置の有無: 有

平成28年12月時点

Table with columns: No, 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費(注3), うち、特定市町村交付金(注4), うち、特定市町村交付金(注5), 平成23年度, 平成24年度, 平成25年度, 平成26年度, 平成27年度, 平成28年度, 平成29年度, 平成30年度, 平成31年度, 平成32年度, 事業間渡り額, 全体事業費(注5), うち、特定市町村交付金(注4), うち、特定市町村交付金(注5), 全体事業費(注6), 備考(注7). Rows include various projects like disaster housing reconstruction, water supply, and disaster prevention.

都道府県名 福島県 担当部署名 (市)企画政策部企画政策課 (県)企画調整部地域政策課 担当者氏名 (市)横山哲也 (県)佐々木貴史
市町村名 相馬市 電話番号 (市)0244-37-2614 (県)024-512-7102 メールアドレス k-kikaku@city.soma.fukushima.jp (県)kikaiseisaku@pref.fukushima.jp

相馬市

復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月5日 設置の有無: 有

平成28年12月時点

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	総交付対象 事業費 (注3)	各年度の交付対象事業費 (注4)								事業間流用 額	全体事業費 (注5)	うち、特定市 町村又は特 定郡道県以 外の者が負 担する額	うち、特定市 町村又は特 定郡道県以 外の者が負 担する額	全体事業 期間 (注6)	備考(注7)
								平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度						
							うち、特定市 町村又は特 定郡道県以 外の者が負 担する額														

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「総交付対象事業費」、「各年度の交付対象事業費」、「事業間流用額」欄の上段()書きは、前回までに配分された額等を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(注4)「各年度の交付対象事業費」欄の中段の計数は、様式1-4の「交付対象事業費(b)」欄と必ず一致させること。

(注5)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。なお、事業間流用を行った場合は必ず流用後の全体事業費を記載する。

(注6)「全体事業期間」は、平成32年度までの事業期間を記載する。

(注7)年度間調整又は事業間流用を行った場合には、「事業間流用額」欄には流用額を、「備考」欄には年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載し、必ず様式3との整合を図ること。

(注8)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。